

かもまるくん
ですっ。

加賀市標章



ブログ更新中 見てね!

石川県教育支援センター

やすらぎ加賀通信

第106号 2015/12/11

テロという言葉が日常的になりつつあるこの頃、日本にも足音が近づいてきているように感じます。人命が軽んじられている気がします。理不尽なことや暴力はゴメンです。県内でも教育に関する様々な問題が報じられており、とても残念です。対処療法も必要ですが、足下を直視する事も大切ですね。

土田先生（心理カウンセラー）の相談予定日

1月15日（金）

2月19日（金）、26日（金）

時間：9:30～11:30

場所：やすらぎ加賀教室

※相談ご希望の方は予約をお願いします。



	来室相談	訪問相談	電話相談	合計	通室生徒
9月	8	7	13	28	3
10月	17	3	12	32	3
11月	19	3	5	27	3

※ 土田先生による学校訪問相談は後期大聖寺高校、加賀聖城高校で実施しました。

研修から

県教育センターでNHKアナウンサーのお話を聞いてきました。印象に残っている部分を引用します。「良い聴き手（訊き手）が良い人間関係を作る。どんな素敵なことばよりも自分に関心を持ってくれる、興味を示してくれる姿勢が最大のプレゼント。コミュニケーションはいつも相手が主役。」「聴く力」が話題になる昨今、相手に関心を持ち、言葉の背景にあるものを読み取ろうとしますが、相手も自分自身の気持ちを整理して伝えることにつながるのではないかと思います。プロの実践家のお話を「聴く」ととても貴重な機会となりました。

第3回事例検討会から 12月4日（金）15:30～16:50 加賀市青少年育成センター 参加21名

きれやすくトラブルを起こしがちな子どもの対応について、PCAGIP法による検討会を開きました。最初に状況理解のための質問が出され、次に以下のようなアイデアが出ました。

- ・ 現在だけでなく以前の学校生活を振り返りながら連携して対応する。
- ・ 専門家の指導も取り入れ校内で共通理解組織的な対応が必要。
- ・ 気軽に話ができるよう雰囲気作りが大切である。
- ・ 習い事塾通い等家庭の様子の実態把握をすること。両親が生活の中で、どんなメッセージや期待をしているのか。学校で色々な場面での良い傾向を保護者にフィードバックする。

等意見が数多く寄せられました。最後に県教育センター教育相談課長の仁八潔先生より、「今が安定しているので、実態把握と親の思いを整理し、組織的な対応を行う。保護者と連携し保護者を引きつける必要がある」との講評をいただき、金沢大学の原田克巳先生からアイデア、ご助言をいただきました。参加者からは「チーム感が生まれ、話をしやすい。素直に意見を受け入れやすい。」「発信しやすい。分かりやすい。」との感想が寄せられました。



加賀フレンドシップ

11月・12月の活動



今年度も、金沢大学原田克巳先生のご協力により6名の学生（女性2・男性4）が、加賀市内の高校、中学校、小学校、のぞみ教室に11月から1月まで、週1回・8回を目安として、子供達の話し相手に訪れています。世代が近いので、また地元出身の学生もいて頼もしい活動を行っております。児童・生徒さんも待っててね。
みんな楽しく活動してね。

プランター農園

今年初めて作った落花生が意外と美味しく出来ました。通室生と楽しく育てられて興味深かったですね。ちっちゃな黄色い花が咲き落ちてしまいます。「落花生」の名前の由来を実感できました。また、春に埋めた丸いもが出来て大きいのはとろろで食し、残りは来年の種にしました。今年は何種類もの種が取れました。昨年のナメコは田舎に置いたものが顔をだしましたよ。みんなのはどうかな？



やすかが日誌

秋はA君が良く来てくれましたね。運動と就職にむけてのトレーニングを兼ねて公園の散歩と、将棋と卓球で勝負勝負。負けず嫌いだね。いいよ！！



お昼は天気が良くて外でラーメンや焼きそばを作り、またオムライスを自分で作って持って来てくれたこともありました。おすそ分けがとても美味しかったですよ。冷凍焼きお

にぎり、レンジでチンの日もあり若者を知る良いキッカケになったですね。



他の通室生も少しずつ動き出しているようです。何かやってみようという気持ちは見習いたいです！